

## 第4学年 国語科学習指導案

対 象 4年4組 男18名, 女17名 計35名

指導者 神尾 大介

- 1 単元名 段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう  
 教材名 「アップとルーズで伝える」 (光村図書 国語4下)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

本単元にかかわる学習内容について、レディネステストを行ったところ、次のような結果だった。

分かりやすく自分の考えを説明して書くためにどんな表現の工夫があるか。	写真や絵、図や表・グラフを使う。 伝えたいことを先に書く。字の大きさ、色を工夫する。 簡単に書く。始め・中・終わりを考えて書く。 文末をそろえる。大事なことは繰り返して書く。
段落と段落のつながりを考えて、事実や説明と筆者の考えを読み取ることができる。 ～「動いて、考えて、また動く」テストから～	できる 8.6% (3人) どちらかというところできる 40.0% (14人) どちらかというところできない 48.6% (17人) できない 2.8% (1人)
指示語、接続語、言葉の理解に気を付けながら、段落に注意して読むことができる。 ～NRT (3年) 説明的文章から～	できる 17.1% (6人) どちらかというところできる 22.9% (8人) どちらかというところできない 54.3% (19人) できない 5.7% (2人)

レディネステストの結果から、本単元では、学習のまとめとして資料を効果的に使い、写真と文章で受け手に分かりやすく説明するための工夫とよさを見付けるといふ言語活動を設定した。対比に着目した教材文の文章構成や写真の使い方を活用し、分かりやすく説明する力を付けさせたいと考え、この単元を設定した。

#### (2) 教材について

本単元を中心とする指導事項は、読むことイ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」及びエ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」である。

児童は、2学年「しかけカードの作り方」や3学年「すがたをかえる大豆」などにおいて、写真や絵、図と文章を対応させて読みながら、筆者の説明の工夫について考え、まとめる学習を行ってきた。そこで、本単元では写真と文章を対応させて読みながら、段落相互の関係や文章全体における段落の役割について考え、説明の仕方の工夫に気付くようにさせたい。このことは、5学年「天気を予想する」の文章と資料を対照させて読み、資料を用いた筆者の意図について考える学習にもつながる。

#### (3) 指導について

本単元では、写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成を捉え、段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えることを学習のねらいとする。そのために、新聞からアップとルーズの視点を使い分け、受け手に分かりやすく説明するための工夫やよさを見付け、紹介する言語活動を位置付ける。

第一次では、写真と文章を結び付けるような活動を行い、写真に対応した文章で説明することに興味をもたせながら、学習する必要感の醸成を図っていく。そして、「説明の仕方の工夫を見付けよう」という学習課題を立て、学習の目的と見通しをもたせながら、意欲的に学習に取り組めるようにする。

第二次では、教材文「アップとルーズで伝える」を読み取る段階で、キーワードや指示語・接続語、文末表現に着目させる。「写真と文章の対応関係」「段落や文の対比」「文章全体における段落の役割」など筆者の書きぶりから説明の仕方の工夫について考えさせる。

第三次では、二次の学習を基に、新聞から「アップ」と「ルーズ」の表現を探し、送り手の意

図を汲み取る活動をさせる。この「アップ」と「ルーズ」の手法は、映像や写真での表現のみならず、文章で説明したり、描写したりするときにも活用できる。アップとルーズの手法や対比の技法を使って、自分の伝えたいことを分かりやすく説明することで、本単元のねらいに迫らせ、この単元で学習したことを基に次の単元「クラブ活動リーフレットを作ろう」にも生かしていく。

### 3 単元の目標

#### (1) 国語への関心・意欲・態度

写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとすることができる。

#### (2) 読むこと

写真と文章との対応した部分についての説明の工夫に気付いたり、それぞれの段落が文章全体の中でどのような役割を果たしているかを考えて読んだりすることができる。

#### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解することができる。

### 4 指導と評価の計画

次	時	学習内容	国語への関心・意欲・態度	読む能力	語と語の関係・構文・機能
	小3	文章全体の組み立て方、段落ごとの書き方、文の書き方に注意して読む。 【せつめいのくふうについて話し合おう】 「すがたをかえる大豆」	文章の内容に関心を持ち、文章構成を理解しながら読もうとしている。	中心になる文を確かめながら、説明されていることを整理している。 構成や具体例に注意し、整理しながら適切に内容をまとめている。 中心となる文や大事な言葉に気を付け、内容が伝わるように音読している。	文章中の表現や言葉に注目し、国語辞典を使って調べている。
一	1 2	写真と文章を結び付けるような活動を行い、そこから説明する方法や説明の仕方についての問題意識をもつ。 教材文から、説明の仕方の工夫を見付け、学習課題を設定し、学習計画を立てる。 段落分けをし、文章の大体を捉える。	説明文の書き方に関心を持ち、教材文の説明の特徴を見付けようとしている。 説明の仕方に関心を持ち、単元の見通しをもっている。		
	3	写真と文章の関係に注意し、①②③段落相互の関係を考えながら、筆者が伝えたいことを読み取る。	写真と文章を対応させながら読み、筆者の説明の仕方の工夫を見付けようとしている。	段落相互の関係に気を付けながら、アップとルーズの意味や、どのような問題が提示されているかを読み取っている。	
二	4 [本]	写真と文章の関係に注意し、④⑤⑥段落相互の関係を考えながら、筆者が伝えたいことを読み取る。	写真と文章を対応させながら読み、筆者の説明の仕方の工夫を見付けようとしている。	写真と文章を対応させながら読み、段落相互の関係をつかんで、筆者の説明の仕方の工夫を見付けている。	接続語や対比的な書き方に気付いている。
	5	⑦⑧段落相互の関係を考えながら、筆者が伝えたいことを読み取る。		段落相互の関係に気を付けながら、新聞とテレビの場合を比較して読み深め、筆者の伝えたいことを読み取っている。	
	6	それぞれの段落の役割を確認しながら読み、文章全体の構成を考え、筆者の説明の仕方の工夫を確かめる。		中心となる語や文を捉えて、段落相互の関係を考えながら、文章全体の構成をつかみ、筆者の説明の仕方の工夫点をまとめている。	
三	7 8	新聞で「アップ」と「ルーズ」の使われ方を見付け、説明する上でのよさを調べ、紹介し合う。		新聞で「アップ」と「ルーズ」の使われ方を見付け、説明する上でのよさを考えている。	
	小5	文章構成、図、表・グラフ・写真の意図を考え、説明の工夫を捉える。 【説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう】 「天気を予想する」	題材、筆者の考え、説明の仕方に関心をもって読もうとしている。	筆者が事例、理由や根拠として挙げている事実を読み取っている。 筆者の説明の工夫やその効果が表れている部分に気付き、読み取っている。 筆者の主張、根拠を自分なりに評価する観点を持ち、筆者の主張について意見を表している。	語と語の関係に気を付けることで、文の意味が捉えやすくなることに気付いている。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

段落相互の関係や接続語、指示語に着目し、アップとルーズに伝えられることと伝えられないことがあることを読み取り、筆者の説明の工夫に気付くことができる。

### (2) 評価規準

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	写真と文章を対応させながら読み、筆者の説明の仕方の工夫を見付けようとしている。
読む能力	写真と文章を対応させながら読み、段落相互の関係をつかんで、筆者の説明の仕方の工夫を見付けている。
言語についての知識・理解・技能	接続語や対比的な書き方に気付いている。

### (3) 展開

段落	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 5分	1 前時の想起 ・ アップとルーズの定義と問いを確認する。	● 掲示物を見ながら、前時の学習内容を振り返らせる。
	2 課題の確認 アップとルーズのちがいをくらべて、筆者の説明の工夫を見つけよう。	
展開 32分	3 課題解決の見通し 課題解決の方法とゴールを確認する。 ・ アップとルーズの違い ・ 分かりやすい説明の仕方の工夫	● 課題を解決するため、分かりやすい説明の仕方の工夫を見付けていくことを確認する。  ● ④⑤段落の書き方の共通点に気付かせる。  ● アップとルーズの長所（分かること）と短所（分からないこと）に線を引かせ、表にまとめさせる。  ● 「アップとルーズではどちらが大事だろう」という問いを投げかけ、それぞれに長所と短所があり、目的に応じて使い分けていることを確認させる。また、それぞれの短所を補っていることにも気付かせる。  ● 「アップとルーズの違いが分かりやすかったのはどうしてか」という問いをもたせ、「写真と文章の対応関係」「段落や文の対比」「文章全体における段落の役割」などの説明の工夫に気付かせる。
	4 課題の解決 (1) 学習場面（④⑤⑥段落）を音読する。 (2) アップ（④段落）とルーズ（⑤段落）を比較して読む。 ・ 最初に長所、最後に短所が書かれている。 ・ 同じような書きぶりになっている。 (3) アップとルーズの長所や短所を抜き出し、違いをまとめる。	
	(4) 段落相互の関係（⑥段落）を考える。 ・ 「このように」という言葉から、④⑤段落をまとめる。	
	(5) 分かりやすい説明の仕方の工夫について考える。	

	<p>(6) ペアで交流する。</p> <p>(7) 学級全体で交流する。</p> <p>5 まとめ 説明の仕方の工夫をまとめる。</p>	<p>● 交流では、自分の考えと比較し共通点や相違点を見出しながら、友達の考えのよさに気付いたり、自分の考えを深めたりさせる。</p>
<p>ちがいははっきりさせるために、対比やつなぐ言葉などを使って説明している。</p>		<p>◎ 写真と文章を対応させながら読み、段落相互の関係をつかんで、筆者の説明の仕方の工夫を見付けている。 (発言・ノート)</p>
<p><b>【本時における目指す児童の姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真や文章で、アップとルーズのことを対比して違いをはっきりさせている。</li> <li>・「このように」という言葉を使って、④⑤段落の内容をまとめている。</li> <li>・「しかし」や「でも」という言葉で、分かることと分からないことの両方を書いている。</li> <li>・前の学習と同じ段落の組み立てになっている。</li> </ul>		
<p>終末8分</p>	<p>6 振り返り</p>	<p>● 振り返りの視点(分かったこと【説明の工夫】、友達のよさ、次に学びたいこと)を確認し、取り組ませる。</p>
<p><b>【振り返り 例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アップで伝えられないことはルーズで伝え、ルーズで伝えられないことはアップで伝えられるので、両方必要だと感じた。また、対比を使って説明しているのだから、アップとルーズのちがいが分かりやすかった。次の時間も、説明の仕方の工夫が他にないか調べていきたい。</li> </ul>		
<p>7 次時の確認</p>		<p>● 新聞の記事にもアップとルーズの視点があることを知り、意欲をもたせる。</p>

(4) 板書計画

